

平成 2 8 年度事業計画

【目標像】

「体験・滞在・反復型の観光地づくり」 ～ 観光によるまちづくりの推進 ～

【理念】

日本の心「やさしさ」を奏でるまち 長門

【スローガン】

私たちは 『笑顔』と『あいさつ』 日本一を目指します！

※参考資料

○長門市観光基本計画の数値目標

	平成 21 年 (基準値)	平成 25 年 (中間目標)	平成 28 年 (最終目標)
年間観光客数	1,163 千人	1,300 千人	1,400 千人
年間宿泊客数	465 千人	600 千人	650 千人
観光ガイド数	2 団体・25 人	5 団体・40 人	7 団体・60 人
着地型旅行商品数	—	10 本	20 本
ながと“やさしさ”指数	(平成 22 年) 32.7%	満足度アップ 50%	満足度さらにアップ 60%

○観光客数の動向

(単位:人)

	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
年間観光客数 (対前年比率)	1,146,131 (98.5%)	1,215,995 (106.1%)	1,187,670 (97.7%)	1,141,258 (96.1%)	1,151,732 (100.9%)	1,204,928 (104.6%)
(宿泊客数)	507,293	536,720	513,064	497,174	460,733	489,902
(日帰り客数)	638,838	679,275	674,606	644,084	690,999	715,026
(県外客数)	690,421	773,423	729,436	666,262	653,400	707,281
(県内客数)	455,710	442,572	458,234	474,996	498,332	497,647

1 事業活動方針

- (1) 一般社団法人長門市観光コンベンション協会定款第4条に掲げる事業を行う。
- (2) 事業実施にあたっては、「長門市観光基本計画」（平成22年12月策定）に掲げられた各重点戦略並びに行動計画に沿った取組を行う。
- (3) 「やまぐち幕末ISHINプロジェクト推進委員会」等の取組と連動し、観光客誘致を推進する。
- (4) 平成29年度デスティネーションキャンペーン（9月～12月）に向けて、JRと連携し観光客の受け入れ体制の強化を進める。

2 主な事業

(1) 着地型観光の推進

体験型メニュー、歴史・文化型メニュー等を作成し、個人向けパッケージツアー、観光素材卸、団体旅行向けユニット商品、教育旅行対応商品に対応できるツアーを企画・造成・販売する。

また、これまで進めてきたツーリズムの取組みをさらに強化するとともに、海を生かしたエコツーリズムなど長門らしい体験・交流プログラムの充実を図る。

さらに、観光客への『心のこもったおもてなし』を実施するため、着地型観光に不可欠なガイド・語り部の育成やボランティアガイド団体への支援を実施する。

(2) セールスプロモーションの強化

メディアや新聞・雑誌記者などに対するきめ細やかな情報提供や情報交換等を通じて、人間関係やネットワークを構築し、影響力や効き目のあるPR活動を展開する。

旅行会社や交通事業者との連携や効果的なタイアップを行うことにより、旅行商品の造成や販売促進、専門ノウハウの習得を図る。

(3) 情報発信力の強化

行政と一本化したホームページ「ななび ながと観光ナビ」の内容充実に努める。

目的やターゲットに応じた宣伝方法の選択、売り込む素材の重点化、ブログやSNSなど効果的な情報媒体の選択などにより、長門の魅力をより多くの人々に発信し、誘客拡大につなげる。

(4) コンベンションの誘致

山口県立劇場「ルネッサながと」、ラポールゆや、長門市俵山多目的交流広場やコンベンション機能を有するホテル等と連動した誘致活動を強化する。

また、山口県MICE誘致推進協議会に参画し、県内各コンベンション協会との連携強化を図る。

(5) 物産品のPR強化

首都圏、関西圏、中京圏、広島圏、福岡圏で開催される観光物産展や商談会に参加し、長門市の名産品や土産品のPR活動に努める。

(6) 恒常的受託業務

①青海島キャンプ村の管理・運営

②観光案内所（JR仙崎駅、JR長門市駅）の管理運営

3 事業計画

(1) 補助事業（予算総額 18,593 千円）

- ① 観光客誘致拡大 クルーズ誘致事業（予算額 1,400 千円）
 - ア 旅行会社等へのクルーズ誘致セールス活動
 - イ 大型客船寄港時（他港寄港時も含む）おもてなし
- ② 観光客誘致拡大 デスティネーションキャンペーン誘客促進事業（予算額 1,200 千円）
 - ア JR西日本や県との連携によるセールス活動
- ③ 観光ボランティア・語り部等育成事業（予算額 500 千円）
 - ア 観光ボランティア団体への支援
 - イ 着地型観光に不可欠なガイドや語り部の育成
 - ウ ガイドスキルアップのための研修会開催
- ④ 着地型観光促進事業（予算額 11,293 千円）
 - ア 着地型旅行商品の企画・造成・販売を行なうための組織基盤強化及び広告宣伝活動
 - イ コンベンション誘致活動
- ⑤ 地域スポーツ人口拡大推進事業（予算額 4,000 千円）
 - ア 俵山多目的交流広場、ながと総合体育館等を利用したスポーツ合宿の推進
- ⑥ 二次交通対策事業（予算額 200 千円）
 - ア 山口宇部空港からのレンタカー利用の支援

(2) 受託事業（予算額 16,700 千円）

- ① 戦略的情報発信事業（予算額 9,600 千円）
 - ア 県・JRとの連携による大都市圏でのキャンペーンやメディアに向けた情報発信
 - イ 観光パンフレットや観光年賀状などの宣伝ツールの活用
 - ウ 観光フォトコンテストによる来訪・参加・発信型企画の実施
- ② JR美祿線利用促進事業（予算額 3,100 千円）
 - ア JR美祿線利用を組み込んだ旅行商品の企画・販売
- ③ 地域スポーツ人口拡大推進事業（予算額 4,000 千円）